

「北海道環境保全技術協会」は、平成16年4月27日の設立依頼、当初任意団体として活動し、新公益法人法の施行を待って北海道法務局に登記申請を行い、平成21年1月28日に登記が完了した後は、「一般社団法人北海道環境保全協会」として再スタートしたものであります。

この間、当協会では主に「技術委員会」と「総務企画委員会」の二つの委員会を中心に活動してまいりました。

「技術委員会」は、各会員の技術力・知見を活用し「土壌ワーキンググループ」・「水質ワーキンググループ」・「簡易分析ワーキンググループ」・「リスク評価ワーキンググループ」・「吸着工法設計検討会」等のワーキンググループにて、各種の研究テーマに取り組んでまいりました。その結果の成果として、No.1～No.6の技術レポートを発行し、北海道内外の行政・建設業・コンサルタント業等に関わる多くの方々から問い合わせや評価を頂いております。また、昨年度で4年目になりますが、北海道新幹線に関わる業務を受託し、技術委員会を中心に、より良い成果を出すべく鋭意奮闘しております。

「総務企画委員会」は、広報活動、環境保全技術セミナー・技術研修会・技術見学会等の企画から実施まで、会員情報交換の実施、新規会員獲得に向けての取り組み等を行ってまいりました。中でも環境保全技術セミナーは毎回北海道内外から行政側、民間側を問わず100名を越える多くの関係者の皆様のご参加を頂いております。

当協会の活動の基盤となる会員数は、厳しい社会経済状況にもかかわらず、設立当初と同程度で現在約80社となっています。更に多くの皆様にご加入をいただき、ネットワークの拡大に努めると共に、活動内容の充実を図り、社会的責任を担うと同時に会員各位のお役に立てる協会にしていかなければなりません。

当協会は一般社団法人として、今後も、所期の協会の目的達成のために、環境保全技術に関わるさまざまな事業活動をしてまいります。法人格を得たことで行政や他の法人との契約行為も可能となりました。更なる委託業務の受注や独自事業の推進など、事業内容を大幅に充実させてまいりたいと思います。

私は、この度専務理事に選任をいただきました。会員の皆様のご期待にそえるよう、理事・幹事、顧問の方々とともに、協会の運営に全力で取り組ませていただく所存です。

皆様には、協会活動に更なるご理解とご協力をいただきたく、また、引き続き協会活動全般につきまして忌憚りの無いご意見をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

平成25年6月